

令和7年度 教科シラバス

教科	国語		科目	論理国語		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	2(1)/8	レポート	6回	
教科書	新編論理国語(大修館書店)		副教材	新編論理国語学習ノート(大修館書店) BRIDGE高校国語Basic(Benesse)		
放送視聴	NHK高校講座 論理国語 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r_ronrikokugo/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r_ronrikokugo/</a>					

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。  
言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。  
現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

内 容	1日型	オンライン	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 具体と抽象の関係	5月30日		2 論証する力とは 3 要約する力とは 4 質問する力とは	①
2 比べて説明する	6月6日			②
3 主張と根拠を考える	6月20日			③
4 1から3のまとめ	9月5日			
5 文章と資料を関連づけて読む	11月14日		38 図表の読み取り方① 39 図表の読み取り方② 19 文章を読み比べるために	④
6 情報を比較・整理する	11月21日			⑤
7 レポートを書く・論理的に書く	12月5日		12 資料を整理し、テーマを吟味しよう① 13 資料を整理し、テーマを吟味しよう② 14 資料を整理し、テーマを吟味しよう③	⑥
8 5から7のまとめ	1月30日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。前期考査範囲1～4、後期考査範囲5～8	

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート(振り返りも含む)・授業プリント評価・定期考査(2回)</li> <li>メディア視聴報告(オンライン型でメディア視聴を行った場合のみ)</li> </ul>	

評価の観点

a. 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。
c. 主体的に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語		科目	国語表現（2年）	
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	2(1)/8	レポート	6回
教科書	国語表現（大修館書店）		副教材	国語表現 基礎練習ノート（大修館） 2025小論文頻出テーマ解説集現代を知るplus 2025小論文頻出テーマ チェック＆ワーク	
放送視聴	NHK高校講座「国語表現」（過去の放送ライブライリーモードon） <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kokuhyou/?lib=on">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kokuhyou/?lib=on</a> NHK for school「10min.ボックス現代文」関連動画 <a href="https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_gendaibun/onair/">https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_gendaibun/onair/</a>				

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 言葉と出会う「言葉と表記」「整った文を書く」	4月11日	—	第2回「表記のしかた」 第3回「語句の用法と文のくぎり方」 第4回「文章のリフォーム－推敲」	①
2 言葉と出会う「相手に応じた言葉遣い」「わかりやすい文を書く」「文のつなぎ方」	5月23日	—	第3回「語句の用法と文のくぎり方」 第5回「わかりやすい説明の方法」 第13回「待遇表現」	②
3 言葉と出会う 実践トレーニング①（原稿用紙の使い方）/メディアを駆使する 手紙のいろいろ	7月4日	—	第9回「テーマ型小論文の実際」 第23回「手紙」 10min.ボックス現代文「手紙」	③
4 1～3のまとめ	8月29日	—	—	
5 伝える、伝え合う「言葉のストレッチ体操」「絵や写真を見て書く」	9月26日	—	第5回「わかりやすい説明の方法」 第12回「挨拶と人間関係」 第14回「励ます言葉・受け入れる言葉」	④
6 小論文・レポート入門「小論文とは何か」「反論を予想して書く」	11月7日	夏季	第6回「意見を論理的に述べる」 第7回「セルフ・ディベート」 第8回「文章の『型』・構成ノート」	⑤
7 小論文・レポート入門「文章を読み取って書く」「統計資料を読み取って書く」	12月19日	夏季	第26回「要約の方法」 第27回「課題型小論文の実際」 第28回「データ型小論文の実際」	⑥
8 5～7のまとめ	1月23日	—	—	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に参加し、さまざまな活動を通して内容の理解を深める。</li> <li>・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を事前に読み、授業に参加する。授業を通して内容の理解を深める。</li> <li>・放送視聴は、視聴後に視聴報告書をまとめる。</li> <li>・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノート等授業記録</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート、小テスト</li> <li>・授業の振り返り</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・視聴報告書及び授業記録</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート、小テスト</li> <li>・授業の振り返り</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	地理歴史		科目	歴史総合		
単位数	3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	3(1)/11	レポート	9回	
教科書	新選 歴史総合(東京書籍)、基本地図帳(二宮書店)		副教材	なし		
放送視聴	<a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/rekishisougou/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/rekishisougou/</a>					

学習目標

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座) ※下記から動画3~4本1セットを選んで視聴	レポート
1章 歴史の扉	4月11日		1 なぜ歴史総合なのか、2 18世紀のアジア、3 産業革命と世界経済の変化	①
2章 近代化と私たち				
1.近代化への問い、2.結びつく世界と日本の開国	5月9日			②
3.国民国家と明治維新、4.近代化と現代的な諸課題	6月6日	7月28日	4 近代社会と国民国家、5 近代国家への道のり、6 帝国主義の時代	③
〃	6月13日			④
3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち				
1.国際秩序の変化や大衆化への問い、2.第一次世界大戦と大衆社会	7月18日		7 20世紀はじめの世界、8 第一次世界大戦と戦後の世界、9 ソ連の登場とアメリカの繁栄	⑤
考査対策	8月29日			
2.第一次世界大戦と大衆社会	9月26日	12月22日		⑥
3.経済危機と第二次世界大戦、4.国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	10月31日		10 国際協調体制の変容、11 国際協調体制の瓦解、12 第二次世界大戦と戦後秩序の形成、13 戦後世界の船出とアジアの再編	⑦
4章 グローバル化と私た				
1.グローバル化への問い、2.冷戦と世界経済	11月28日		14 冷戦の変化と脱植民地化、15 冷戦下の日本の政治と経済成長、16 ベトナム戦争と世界秩序の変容、17 石油危機とアジアの経済発展	⑧
3.世界秩序の変容と日本、4.現代的な諸課題の形成と展望	1月9日		18 冷戦の終結、19 グローバル化とこれからの世界、20 現代的な諸課題の形成と展望	⑨
考査対策	1月23日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<p>【授業】 授業プリントで概要や重要箇所を学習する</p> <p>【授業プリント】 教科書を見ながら学習する</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 資料の読み取り・活用</p>	<p>【スクーリング】 授業プリントで重要箇所を学習する</p> <p>【授業プリント】 教科書を見ながら学習する</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する</p> <p>【放送視聴課題】 映像で重要箇所の内容を学習する</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 資料の読み取り・活用</p>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

<p>a. 知識・技能（定期考查/50）</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>
<p>b. 思考・判断・表現（レポート/30）</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、オンライン型は放送視聴課題も含む/20）</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	公民		科目	公共		
単位数	3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	3(1)/11	レポート	9回	
教科書	公共(実教出版)、基本地図帳(二宮書店)		副教材	なし		
放送視聴	<a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/koukyou/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/koukyou/</a>					

学習目標

- 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座) ※下記から動画3~4本1セットを選んで視聴	レポート
1部 公共の扉				
1.社会を作る私たち、2.人間としてよく生きる、3.他者と共に生きる、4.民主社会の倫理	4月18日		1 社会のなかの自己 2 共に生きるための倫理 3 私たちの民主的な社会	①
5.民主国家における基本原理	5月23日	7月31日	3 私たちの民主的な社会 4 民主政治と政治参加(1) 5 民主政治と政治参加(2)	②
2部 よりよい社会の形成に参加する私たち				
《政治》 1.日本国憲法の基本的性格、2.日本の政治機構と政治	6月13日		6 法や規範の意義と役割 7 市民生活と私法 8 国民の司法参加	③ ④
《経済》 1.現代の経済社会	7月25日		9 現代の経済と市場 10 市場経済における金融の働き	⑤
〃	9月5日		11 財政の役割と持続可能な社会保障制度	
2.日本経済の特質と国民生活	11月15日	12月25日		⑥
《国際社会》 1.国際政治の動向と課題	10月10日		14 国際社会のルールとしくみ 15 国際社会と平和主義 16 国際平和への課題	⑦
2.国際経済の動向と課題	11月7日		17 グローバル化する国際経済	⑧
3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	11月14日		18 探究活動① 19 探究活動② 20 探究活動③	⑨
考查対策	12月5日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<p>【授業】 授業プリントで概要や重要箇所を学習する</p> <p>【授業プリント】 教科書を見ながら学習する</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 身の回りの事象を価値観や概念でとらえる</p>	<p>【スクーリング】 授業プリントで重要箇所を学習する</p> <p>【授業プリント】 教科書を見ながら学習する</p> <p>【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する</p> <p>【放送視聴課題】 映像で重要箇所の内容を学習する</p> <p>【考查勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題</p> <p>【学び直し】 身の回りの事象を価値観や概念でとらえる</p>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

<p>a. 知識・技能（定期考査/50）</p> <p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>
<p>b. 思考・判断・表現（レポート/30）</p> <p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、オンライン型は放送視聴課題も含む/20）</p> <p>国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	数学		科目	数学Ⅱ	
単位数	4	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	14(7)/14	レポート	12回
教科書	新数学Ⅱ(東京書籍)		副教材	ニューファースト新数学Ⅱ(東京書籍)	
放送視聴	NHK高校講座 数学Ⅱ <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/suugaku2">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/suugaku2</a>				

学習目標

方程式、図形と方程式、三角関数及び指数関数・対数関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
①教科書 p4~11	4月11日	夏季	2 3次式の乗法と因数分解 5 分数式	①
②教科書 p12~16	4月18日	夏季	7 複素数 9 2次方程式	②
③教科書 p20~23	5月30日	—	11 整式の除法 12 因数定理	③
④教科書 p34~42	6月13日	—	17 直線上の座標 19 平面上の座標	④
⑤教科書 p44~51	7月4日	—	22 直線の方程式 25 2直線の関係	⑤
⑥教科書 p52~61	7月18日	—	27 円の方程式 31 不等式の表す領域	⑥
⑦総復習	8月29日	—	前期考査範囲のまとめ	
⑧教科書 p66~75	9月26日	—	37 三角関数 41 三角関数のグラフ	⑦
⑨教科書 p82~83	10月10日	—	49 弧度法	⑧
⑩教科書 p86~93	11月14日	—	51 指数の拡張 53 累乗根 55 指数関数	⑨
⑪教科書 p96~97	11月28日	—	57 対数	⑩
⑫教科書 p98~99	12月19日	—	59 対数の性質	⑪
⑬教科書 p100~101	1月9日	冬季	60 対数関数	⑫
⑭総復習	1月23日	冬季	後期考査範囲のまとめ	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業1回につきレポート1回分進む。</li> <li>・授業はレポートの問題に沿って重点的に解説する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、副教材の問題演習を中心に、要点を説明する。</li> <li>・放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査(年2回、5割)、レポート(年12回、3割)</li> <li>・平常点(副教材提出等、2割)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査(年2回、5割)、レポート(年12回、3割)</li> <li>・平常点(副教材提出等、2割)</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基本的な概念や原理を理解する。</li> <li>・事象を数学的に解釈したり表現したりする能力を身に付ける</li> </ul>
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を活用して事象を論理的、統合的に考察する。</li> <li>・数学的な表現を用いて事象を簡潔、的確に表現する。</li> </ul>
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用する。</li> <li>・問題解決の過程を振り返り考察を深め改善する。</li> </ul>

令和7年度 教科シラバス

教科	理科	科目	地学基礎		
単位数	3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	12(7)/12	レポート	9回
教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)		
放送視聴	NHK高校講座 地学基礎 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chigakukiso/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chigakukiso/</a>				

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。

・現在の地球の活動について観察などを通して探究し、地球の構造や、プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。

・地球の現在に至るまでの過程について観察などを通して探究し、太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 地球のすがた	5月9日	7月28日		①
2 地球の活動①	6月6日	7月29日		②
3 地球の活動②	6月20日	7月31日		③
4 大気と海洋①	7月18日	放送視聴①	11 地球の大気 12 地球の大気で起こる現象 13 地球の熱収支	④
5 大気と海洋② 地球の環境①	7月25日	放送視聴②	14 大気の大循環 15 雲と降水のメカニズム 16 海水とその運動	⑤
6 前期問題演習	9月5日	放送視聴③	38 地球環境の考え方 39 人間活動がもたらす自然環境の変化 40 持続可能な発展へ	—
7 地球の環境②	10月31日	放送視聴④	17 宇宙の誕生 18 恒星と銀河の誕生 21 太陽系の誕生	⑥
8 宇宙と地球	11月21日	放送視聴⑤	22 太陽系の構成 23 太陽の特徴 24 地球の特徴	⑦
9 生物の変遷と地球環境①	12月5日	12月22日		⑧
10 生物の変遷と地球環境②	1月9日	12月25日		
11 生物の変遷と地球環境③	1月16日	放送視聴⑥	29 古生代 30 中生代 31 新生代	⑨
12 後期問題演習	1月30日	放送視聴⑦	35 気象災害と防災 36 地震による災害と防災 37 火山による災害と防災	—

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 前期考査範囲：1~6、後期考査範囲：7~12	授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。 前期考査範囲：1~6、後期考査範囲：7~12
評価方法	
キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・レポート評価</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、視聴課題の報告</li> <li>・レポート評価</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
観察などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。
c. 主体的に取り組む態度
地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育		科目	体育（2年次）		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	10(6)/12(4)	レポート	2回	
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports		
放送視聴	NHK高校講座 保健体育 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/</a> <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/</a>					

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—	1～5 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた、生活習慣病とその予防 他	①
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—		①
新体力テスト・体づくり運動	2025/5/23	—	保健体育30～34 春季における健康課題と性行動の選択、妊娠・出産と家族計画 他	①
バレーボール・新体力テスト	2025/5/23	—		①
バレーボール・新体力テスト	2025/6/13	—	保健体育36～37、39～41 環境衛生活動と環境と健康に関わる対策 他	①
バレーボール・陸上競技	2025/6/13	—		①
バレーボール・陸上競技	2025/7/30	夏季		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/30	夏季		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—		②
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/11/7	—		
バドミントン・卓球	2025/11/7	—		②
バドミントン・卓球	2025/11/28	—		
バドミントン・卓球	2025/11/28	—		
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季		
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季		

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<p>・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。</p> <p>・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポート</p>	<p>・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。</p> <p>・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。</p> <p>放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。</p>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度(出席率等も含む)</li> <li>・実技テスト</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、視聴課題の報告</li> <li>・実技テスト</li> <li>・レポート評価</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。</p>
b. 思考・判断・表現
<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫していると同時に、それらを他者に伝えている。</p>
c. 主体的に取り組む態度
<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術		科目	美術Ⅱ		
単位数	2	要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時	4 (4)	レポート	6	
教科書	美術Ⅱ		副教材			
放送視聴						

学習目標

美術の創造活動な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
花を描く	4月25日	7月29日		①②
アニメーション	7月4日	12月23日		③
住まいのデザイン	10月17日			④⑤
まとめ	12月19日			⑥
			NHK高校講座美術Ⅰ 9・10・11	
			NHK高校講座美術Ⅰ 12・13・14	
			NHK高校講座美術Ⅰ 15・16・17	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象の持つ造形的なよさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。</li> <li>イメージや作品について言葉や文章で説明できる。</li> <li>美術の基礎的な知識を理解している。</li> </ul>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。</li> <li>表現する際に、道具や表現技法を選ぶことができる。</li> <li>学んだ知識や技法を表現に生かしている。</li> </ul>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。</li> <li>他者の制作する姿勢や作品に興味を持ち、意欲的に自己の制作に生かそうとしている。</li> <li>粘り強く制作に取り組んでいる。</li> </ul>

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術		科目	書道Ⅱ		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	8(4)/8	レポート	6回	
教科書	書Ⅱ(光村図書)		副教材	なし		
放送視聴	NHK高校講座 書道Ⅰ <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/</a>					

学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 個性豊かな漢字の姿 漢字の書 篆書「泰山刻石」他 漢字の書 隷書「居延漢簡」他	4月25日		3 はじめは臨書から 8 それは甲骨文から始まった 13 書体のルーツを探る	① ② ③
3 漢字の書 草書「十七帖」他 漢字の書 楷書・行書「造像記」他	7月4日		9 書聖・王羲之の世界 行書を始めよう 11 躍動する筆 草書 17 見る!そして感じよう!書の鑑賞	
5 篆刻・刻字 姓名印/表札 漢字仮名交じりの書 創作	10月17日		5 石に刻んだ書 18 オリジナルの印を刻もう 6 手書きだから伝わること	
7 仮名の書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「元永本古今和歌集」	12月19日		14 ひらがなのルーツを探る 15 書いてこそ美しい和歌 16 散らし書きに挑戦	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
考査は行いません。授業では臨書などを含めた作品の提出を求めるので、時間内に完成できるよう取り組んでください。 放送視聴は視聴後に視聴報告書を提出してください。	

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート(振り返りも含む)作品、課題等の提出	

評価の観点

a. 知識・技能	書の造形や多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。
b. 思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わいを捉えたり、表現を工夫したりすることができるようにする。
c. 主体的に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えるようにする。

令和7年度 教 教科シラバス英語 週1・通信コース

教 科	外国語		科 目	Vista English Communcation II		
単位数	4単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	16 (9) /16	レポート	12回	
教科書	Vista English Communcation II 三省堂		副教材	Vista English Communcation II 省堂ワークブック		
放送視聴	NHKラジオ講座 英語コミュニケーションII					

学習目標

- ・言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、英語の基礎的知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- ・言葉・文化・民族の多様性とその共存を基本とし、国際理解の精神の育成を図る
- ・生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、自ら学びに向かう力を養成する。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
(1) Lesson1 World Dance Performance	4月11日	視聴課題1	1 入門講座、2 PreLesson、17 Lesson5 (2)	①
(2) Lesson2 A Piece of Cake	4月18日	視聴課題2	13 Lesson4 (2) 21と22 Lesson6の(2) (3)	②
(3) Lesson1・2のまとめ	5月9日	視聴課題3	29 Lesson8 (2)、 33, 34 Lesson(2)(3)	③
(4) Lesson3 Quokka	5月30日	視聴課題4	9, 10, 11 Lesson3(1)(2)(3)	④
(5) Lesson4 Designing stamps	6月6日	7月29日		⑤
(6) Lesson 3・4のまとめ	6月20日	7月30日		⑥
(7) Lesson1～4のまとめ	7月18日	7月31日		
(8) Lesson5 Mon-Saint Michel	8月29日	視聴課題5	15 Extra Target①、 16 Lesson5 (1)、19 Lesson5 (4)	⑦
(9) Lesson6	9月26日	視聴課題6	20 Lesson (1) 23 Lesson6 (4)、 24 Lesson7 (1)	⑧
(10) Lesson5・6のまとめ	10月10日	12月22日		⑨
(11) Lesson5・6のまとめ	10月31日	12月23日		
(12) Lesson7 A martial Art Tatami	11月14日	視聴課題7	4 Lesson1 (2)、5 Lesson1 (3) 16 Lesson5 (1)	⑩
(13) Lesson7 A martial Art Tatami	11月21日	視聴課題8	38 Lesson10 (2) 39 Lesson10 (3) 40 Lesson10(3)	
(14) Lesson8 Biolpgging	12月5日	視聴課題9	6、7、8 Lesson2 (1)(2)(3)	⑪
(15) Lesson7・8のまとめ	1月9日	12月24日		⑫
(16) Lesson5～8のまとめ	1月23日	12月25日		

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法説明を聞き、ノートのとまとめ、ワークの問題をすすめる</li> <li>・教師の支援のもと本文を読む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法説明を聞き、ノートにまとめワークの問題をすすめる</li> <li>・視聴時は前もってPDFより学習メモを入手してメモを取りながら視聴する</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
・授業態度・レポート・定期考査(2回)	・視聴レポート・レポート・定期考査(2回)

評価の観点

a. 知識・技能
外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きや特徴などの理解を深める。これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの活動において、基本的な語句や文を用いて、伝えるために必要な技能を身に付ける。
b. 思考・判断・表現
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	学校設定科目	科目	ベーシック（2年）		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	1日:3/4	木:2/2	レポート 2回
アプリ	Monoxer（モノグサ）	アプリ内 テキスト	SPI3&テストセンター 出るところだけ！完全 対策		
放送視聴	なし				

学習目標

- ・「考える力」を軸に、勉強をする意義をよく理解する。
- ・学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
- ・自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
- ・物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
基礎コンテンツ、SPI3の計画	4月18日			
基礎コンテンツ授業内テスト	7月25日	7月31日		①
基礎コンテンツ、SPI3の計画	10月10日			
基礎コンテンツ授業内テスト	1月16日	12月25日		②

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターは各自で進める。 基礎コンテンツ（中学国数英）を計画に基づいて進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターについて、レポート扱いとする。 基礎コンテンツについては、各期ごとに確認テストを行い、 評価する。 達成率等も評価基準とする。

評価の観点

a. 知識・技能
基礎学力の向上や、一般常識の学習。
b. 思考・判断・表現
計画を立て、遂行する能力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
毎日の学習習慣の確立。

令和7年度 教科シラバス

教科	総合的な探求の時間		科目	---	
単位数	1単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	---	レポート	4回(オンラインは1回)
教科書	なし		副教材	なし	
放送視聴	NHK高校講座「総合的な探求の時間」 ( <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tanq/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tanq/</a> )				

学習目標

探求の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
コミュニケーション	5月9日	—	(参考) NHK高校講座「総合的な学習の時間」 第1・2回「あなたが人とつながることで何が生まれるか？」	①
社会参加	7月25日	—	(参考) NHK高校講座「総合的な学習の時間」 第3・4回「あなたはどのように社会の役に立てるか？」	②
仕事	10月31日	冬季	(参考) NHK高校講座「総合的な学習の時間」 第910回「あなたは将来、どのような仕事を選択するのか？」	③
地域	1月16日	—	(参考) NHK高校講座「総合的な学習の時間」 第11・12回「あなたはどんな町であれば住み続けたいか？」	④

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に参加し、活動を通して自己理解を深めましょう。</li> <li>事後レポートを活用して学びのまとめを行い、自己理解の深まりを確認しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に参加し、活動を通して自己理解を深めましょう。</li> <li>事後レポートを活用して学びのまとめを行い、自己理解の深まりを確認しましょう。</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の行動観察</li> <li>ワークシート</li> <li>レポート ※文章により評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の行動観察</li> <li>ワークシート</li> <li>レポート ※文章により評価します。</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
探求の家庭において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。
b. 思考・判断・表現
実社会や実生活と自己との関りから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
c. 主体的に取り組む態度
探求に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。